

トピックス② あおもり米新品種「はれわたり」と命名

2023年産で本格デビューするあおもり米新品種「青系196号」の名称が「はれわたり」に決定しました。ここでは、「はれわたり」をはじめとしたあおもり米をご紹介します。

1 あおもり米新品種「はれわたり」



○名前に込められた思い

青森の空が広く晴れわたるイメージを思い描き、全国に知れ渡ってほしいという思いが込められています。

また、今般、米価が大幅に下落し、生産者の皆さまが米作りの先行きに大きな不安を抱いている状況の中、**県産米の未来がひらけ、生産者の方々の気持ちも明るく晴れやかにさせる存在**となることを期待して命名しました。

○名称決定まで

名称は、青森県産米需要拡大推進本部が公募し、県内外から1万205件の応募がありました。この中から、消費者団体や集出荷団体の関係者等10名で構成される「新品種名称選考委員会」において6つの案に絞り込まれ、県が最終的に選定しました。名称を考案したのは県外在住者で、「青森の晴れ渡る空から恵みを受けたすがすがしく輝くコメ」をイメージしたそうです。

○品種の特徴

「はれわたり」は、「まっしぐら」のほか「コシヒカリ」や「あきたこまち」などを系統に持ち、2009年に交配し、2018年から県内で試験栽培しています。暑さや寒さ、いもち病に強く、倒伏や高温時の胴割れが起きにくいのが特徴で、県内の広い地域で栽培が可能とされています。

○食味の特徴

透き通るような白さが際立ちます。

また、柔らかい食感、粘りが強いなど、これまでの県産米にない特徴を持っています。

2 全国のブランド米事情

○米の食味ランキング

一般財団法人日本穀物検定協会が主催する「米の食味ランキング」は、炊飯した白飯を試食して評価する食味官能試験に基づき、1971年産米から毎年全国規模の産地品種について実施しています。食味試験のランクは、基準米との比較により特A～B'で評価されます。

2021年産米は152産地品種もの出品があり、そのうち42産地品種は、最高評価である特A評価となりました。

北海道・東北地方の主なブランド米と評価		
北海道	ななつぼし、ゆめぴりか、ふっくりんこ	特A
青森県	青天の霹靂	特A
岩手県	銀河のしずく	特A
山形県	つや姫、雪若丸	特A

※評価については、産地指定があるものも含む

○次々と登場する新品種

近年は、米価の下落、食生活や米に対する価値観の変化などに対応するため、各地で次々と新品種が登場しています。2021年は福島県の「福、笑い」、2022年は秋田県の「サキホコレ」、2023年は本県の「はれわたり」など、東北地方での新品種デビューが目立ちます。

本格販売年	主な銘柄
2019年	ひめの凜（愛媛県）
2020年	粒すけ（千葉県）
2021年	福、笑い（福島県）
2022年	サキホコレ（秋田県）
2023年	はれわたり（青森県）

3 あおもり米のこれから

あおもり米のけん引役である「青天の霹靂」、食味に優れた「つがるロマン」、業務用米としても高いニーズがある「まっしぐら」、そして新たにデビューする「はれわたり」など、それぞれの食味や特徴を生かし、県内外における認知度向上に向けたPR活動等を通じ、県産米全体の評価向上を目指します。

